

平成27年3月定例教育委員会会議録

1. 開会宣言 平成27年3月4日（水） 10時00分
 2. 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
 3. 出席者 河本委員長・中尾委員・衛藤委員
左京委員・増田教育長
 4. 教育委員会事務局出席者
松尾教育部長 片平学校教育課長
毛利学校教育課指導室長 松永学校教育課長補佐
木森生涯学習課長 影平生涯学習課社会教育係長
田中教育総務課長 米満教育総務課長補佐
 5. 傍聴人 1人
 6. 議 題
 - (1) 前回会議録の承認について
 - ・平成27年2月定例教育委員会会議録・2月臨時教育委員会会議録
 - (2) 報告
 - ・平成27年3月学校教育行事及び社会教育行事について
 - ・その他
 - (3) 協議事項
 - ・平成27年4月定例教育委員会の開催について
 - ・平成27年度中間市における「土曜日授業」の実施方針について
 - ・平成27年度学校教育・社会教育重点目標について
 - ・中間市男女共同参画審議会委員の推薦について
 - ・その他
 7. 審議の経過及び結果
 - (1) 前回会議録の承認について
平成27年2月定例教育委員会会議録・2月臨時教育委員会会議録、出席委員全員了承する。
 - (2) 報告
平成27年3月学校教育行事及び社会教育行事について
- 学校教育、社会教育それぞれ3月の行事予定表に基づき関係課長から順次報告がなされた。

質 疑 応 答

〈左京委員〉

3月5日に、就学指導委員会が開催される予定ですが、学校教育法の施行令の規程により、来年度、市内の小中学校入学予定者で認定特別支援学校就学者以外の子どもについては、教育委員会は、その保護者に対して1月末までに入学通知を出し、認定特別支援学校就学者については、2月末までに県教育委員会にその旨を通知しなければならないと思います。本年度についても就学指導委員会は、8月と12月の2回実施されていると思いますが、入学通知の期日をふまえると3月開催では遅いと思いますが、何か理由があるのですか。

〈片平学校教育課長〉

実際に、保護者の方がどちらの方に進学させるのか心が動いているところもあります。3月5日に開催される際に最終的な結論を出すということになっています。

<左京委員>

その子どもについては、まだ、就学通知等は当該の小中学校、もしくは認定特別支援学校に対しての通知は出していないのですか。

<片平学校教育課長>

これにつきましては、「現段階で」ということでお知らせをして調整を行っているところです。

<左京委員>

就学指導委員会においても、あくまで指導であって、決定事項ではないと思います。最終的には、市教委と保護者とその事について協議して適切な就学先について指導するということになると思いますが、また就学指導委員会は状況をもとに再度、協議されるという事ですか。

<片平学校教育課長>

明日、行われる就学指導委員会におきましては、進級する14名の子どもに対して再度、確認する場があります。

<衛藤委員>

中間東小学校と北小学校と南小学校が、16日・17日から保幼小連絡会が行われますが、他の小学校については、いつ行われたのですか。

<毛利学校教育課指導室長>

本年度につきましては、教育委員会としても保幼小の連携を深めるという事も含めて研修会等も行い、その中で合同では出来ないかという事で調整を図りましたが、本年度につきましては、各学校で連絡会を設定したいという事でした。

<衛藤委員>

小学校のバイキング給食の内容を教えてください。

<毛利学校教育課指導室長>

6年生を対象に行っています。底井野小学校・中間小学校については、一堂で大きな部屋に集まって普通のバイキングで一品ずつ取っていく形式で、中間東小学校につきましては、給食を全体で食べるランチルーム等は、どうしても学年一堂に出来ませんのでクラスごとという形式で3日間に分けて実施しているところでございます。他の学校につきましては、各々の教室の中で多めの給食を食べていますので、あえてバイキング形式は行っていません。

●その他

○3月定例市議会日程について

<松尾教育部長>

昨日が議会初日で、明日、一般質問があります。今回は、佐々木議員・共産党の宮下議員・青木議員・田口議員の4名から一般質問が提出されています。教育関係の質問はございませんが、青木議員の中間市の平和施策という事の中で、広島・長崎に原爆が投下されて70年になるという事で、市の平和施策という関連の中で小学校での取組みを行っているのかという再質問が予想されます。13日金曜日が議会中日で条例関係と補正予算が採決されます。25日が議会最終日で新年度予算が採決されます。

○小中学校の空調設備整備事業の予算について

<田中教育総務課長>

空調予算につきまして、2月12日の臨時教育委員会では、補助金を活用し事業を実施するため、補正予算で、歳入1億2千万円、歳出は工事費3億9300万円、監理委託費120万円を提案していました。しかしながら、このたび申請しています空調設備設置事業は補助事業として不採択であったという報告がございました。また、27年度予算においても国は耐震事業に重点を置いたため空調に係る補助はないものと考えてほしいとのことでした。

今後のことについて協議した結果、27年度は主に普通教室のみを整備することで事業費を抑え

ることとなりました。

よって、空調予算として、工事費 3 億 3198 万 6 千円、監理委託費 120 万円を新年度予算に計上しています。

〈左京委員〉

前回の説明の時は、補助金の交付要綱の中で 1/3 補助が出るという事でしたが、全く補助金が付かないという事は有り得るのですか。

〈田中教育総務課長〉

今回、耐震等で予算以上の事業が全国から申請されているとのことで、今回、中間市だけでなくエアコンを申請している他の自治体も、ほとんど不採択となっているようです。

〈増田教育長〉

国の補助の対象項目には入っていますが、国の優先順位から言いますと最下位になっており予算の枠内で余りがあれば付きますが、結果的に耐震等が優先されたこととなります。また、県からも国としては、27年度についてもエアコンに伴う補助は厳しいということで返事を頂きました。今後の方針を市長とも協議した結果、教育予算については付けるということで27年度予算に計上しました。議会の承認を頂きましたら実施していきたいと思えます。

〈衛藤委員〉

教室数は小学校86・中学校45と書いていますが、子どもたちが通常使用している教室はすべて満たすという事ですか。

〈田中教育総務課長〉

普通教室は全部です。特別支援学級につきましては、一部屋に子どもが少人数の場合は、もの凄く暑い時期だけ真ん中を仕切って、2つのクラスで1つの教室を使用するよう学校にお願いしています。残った教室につきましても財政課と予算の協議を行った上で、最終的には当初の計画通りに全部の教室に設置していきたいと思えます。削った所は職員室・校長室・調理室です。

〈左京委員〉

この補助金の交付申請時期は、いつ提出されたのですか。

〈田中教育総務課長〉

昨年の6月に提出しています。通常ならば今年の3月に連絡があります。

〈増田教育長〉

今回の場合は、衆議院選挙がありまして、当初だったら12月から通常国会に入るところでしたが臨時国会となりまして、1月から国会という事で1ヶ月間延び、交付の内定まで20日から1ヶ月程度遅くなったことから、今回、国の不採択が決定次第、予算を組みかえたところ です。

○川崎市的事件に伴う中間市での不登校等の実態について

〈片平学校教育課長〉

事件が発生しまして即座に各学校へ通知文を出そうと思っておりましたが、県からの通知分と重なってはどうかと思ひまして各小中学校に電話をしまして、とにかく子どもの変化をしっかりと見てくださいという事、もし変化があれば必ず家庭訪問を行い、親との連携・福祉課との連携・警察との連携を取る様に指導しています。一昨日、県の方から不登校等の調査がありましたが、現在、把握しているのは、7日間以上の欠席者はいますが、事件性があるとか、家庭訪問を行っていないとか、川崎市と同じ様な事件に巻き込まれていることないという事で把握しております。

(3) 協議事項

●平成27年4月定例教育委員会の開催について

〈田中教育総務課長〉

平成27年4月3日(金) 16時00分開催

●平成27年度中間市における「土曜日授業」の実施方針について

〈片平学校教育課長〉

小学校は年6回、中学校は部活動等もありますので年3回程度、実施していきたいと考えています。児童生徒の休日振替は実施しません。

●平成27年度学校教育・社会教育重点目標について

質 疑

〈左京委員〉

平成26年度では「開かれた学校づくりの推進」と「教職員の実践的指導力の向上」という項目がありましたけれども、平成27年度では、これを一本化して「信頼される学校づくり」として目標を掲げているという事ですね。それで家庭・地域との連携を深めて開かれた学校づくりを進めることは大切な事と思いますが、信頼される学校づくりという言葉の意味を考えた時、その原点は、子どもたちから信頼される学校でなければならないという事だと思えますが、どのように考えますか。

〈片平学校教育課長〉

子どもたちから信頼されるためには、授業力を高める・体力を増進させるために子どもたちと一緒に活動する等、そういった所が包括されながら個々の信頼される学校づくりという所になってくるのではないかと考えています。

〈左京委員〉

なによりも、先生方が子どもたちのことを思って正面から向き合う気持ちが必要ではないかと思えます。信頼関係があれば積極的に授業にも参加し、また、子どもたちが抱えている様々な悩みを先生に心を開いて打ち明け、相談もするのではないかと思えます。

〈衛藤委員〉

重点目標を達成するための具体的方策の中で「豊かな心の育成」とありますが、基本的に「豊かな心の育成」と「豊かな感性」とは違うと思えます。差別を差別と見抜けるかどうかは「感性」で、その事について痛みを感じるのが「心」だと思えます。感性と心はセットになっていますので「感性」という言葉をどこかに入れて頂いた方が良いと思えます。感性がなければ心も育たないと思えますので。次に、昨年度は「生徒指導の充実」という項目がありましたが、今回は「豊かな心の育成」の中に一緒に入っていますので、関連性を学校側がきちんと理解できるのかなと思えます。次に、「特別支援教育の推進」という事ですが、県の方策は「推進」という事ですが、去年は「特別支援教育の充実」だったと思えますが、充実の方が更に進んでいるという考え方だと思えます。推進とは、今から進めますという事で、充実とは、内容を充実させていきますという考え方なので、どうかと思いました。それから、昨年度は「教職員の実践的指導力の向上」というタイトルがありましたが、今年は、「信頼される学校づくりの推進」という形になっています。実践的指導力という文言は教職員としては必要ではないかと思えますので、どこかに取り入れて頂きたいと思えます。

〈片平学校教育課長〉

「感性」と「心」の部分は整理しながら入れていきたいと思えます。生徒指導につきましても、積極的生徒指導を推進する上でもあえて「豊かな心」を打ち出しながら全教科・全教育課程の中に生徒指導が入っている所を示したいので、その様にさせて頂いています。次に、「特別支援教育の推進」は、「特別支援教育の充実」に変更いたします。「信頼される学校づくりの推進」につきましても、ご指摘の通り、これまでも行っていましたが、更にという意味で「より連携を深め」に変更させていただきます。

〈左京委員〉

青少年の健全育成の中で、平成26年度の社会教育重点目標では通学合宿事業の開催を掲げていましたが、平成27年度については実施しないのですか。

〈木森生涯学習課長〉

5年間の補助事業として実施していましたので、平成26年度で終了いたします。

〈左京委員〉

文部科学省が進める土曜日の教育活動推進事業とは、新たに事業として取り組まれるのですか。

〈影平生涯学習課社会教育係長〉

運営委員会を設置し、コーディネーターを配置して、土曜日に体系的・継続的な教育プログラムを企画・実施する取組を学校と連携しながら支援しまして年 10 回程度開催されます。

〈左京委員〉

小中学校における土曜授業の実施について提案がありましたが、それとは別の事ですか。

〈毛利学校教育課指導室長〉

土曜授業は、あくまでも学校教育の中の一貫として行われる授業であり、生涯学習課で行おうとしている推進事業につきましては、主に、地域に根ざした形で学校外、施設としては学校等を利用する場合がありますが、英語教室・スポーツ教室等の外部の方、ボランティアの方を指導者として小学生・中学生を対象にした教室等を実施する形で行う事業です。

〈左京委員〉

来年度、生涯学習の基本計画策定される際に、検討して頂きたい課題として提案させて頂きたいと思います。先月、砂山公民館において、安全安心まちづくり課による校区まちづくり協議会の住民説明会が行われました。西校区・中間校区に続いて、底井野校区についても来年度中にまちづくり協議会の設置を目指すという事の説明会がありました。その中で、協議会として是非取組んでほしい事が、自主防災組織づくり・災害時の地域の助け合い・避難訓練の実施等、防災に関する事でした。その後の質疑においても、住民の方から防災無線が全く聞こえない・遠賀町の避難訓練を知らせる「エリアメール」は携帯に入るが中間にはないのか・避難を指示する基準は設けてあるのか等の質問がありました。確かに、東日本大震災以降、特に防災に関して地域の関心は高まっていると思います。行政としても取り組まなければならない課題だと思います。そこで、平成 11 年策定の生涯学習基本計画において、21 項目の推進施策を掲げて、その内、豊かで充実した人生を送るための生涯学習として人権学習の推進・ボランティア活動の推進等、6 項目を掲げているのですが、それに新たに、学校及び地域における防災学習の推進を 1 項目加えたらどうかという事であります。学校教育課や安全安心まちづくり課とも協議して検討して頂ければと思います。

●中間市男女共同参画審議会委員の推薦について

〈田中教育総務課長〉

本市では中間市男女共同参画審議会が設置されております。この審議会には、教育委員会の方から委員を 1 人推薦しております。現在、中尾委員です。この任期が本年の 3 月 31 日までとなっておりますので、その後、平成 27 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの 2 年間ですが委員の推薦をお願いしたいということで、次の委員を選考して頂きたいと思います。

〈委員全員〉

引続き中尾委員で了承する。

●その他

○通学路の点検について

〈衛藤委員〉

中間市の状況を見ましたら、かなり、保護者の目の届かないところを子どもたちが通学している、或いは、地域の中でだんだん空地が増えているので、そこを通学している状況の通学路が危険性を潜んでいると思いますので、一度、通学路の点検をお願いしたいと思います。特に、底井野小学校においては、ほとんど人が通らない所を通学していますので不安を感じますのでよろしくお願ひします。

〈毛利学校教育課指導室長〉

通学路の点検については、交通事故に伴う安全点検を主とした点検となっております。今後、まちづくり協議会が校区に順次、設置される予定になっております。現在、小学校では、地域ネットワーク会議等を設立して、地域からの情報も共有しながら点検を行っている状況です。それにつきましては、随時、まちづくり課・学校教育課の方に連絡が入りまして、道路管理課等も含めて通学路の見直しを行っている状況で、今後も、空地等、人目につかない場所につきましては、警察

等の見回りを含め充実していきたいと思ひます。

○先生と生徒でのメールについて

<衛藤委員>

2月8日の読売新聞に、教師と高校生でのメール交換を禁止する。内容は、教師が生徒にわいせつメールを送信したり、私的なメールを送信したりすることで保護者から苦情が来ているとの事です。中間市教育委員会として学校の方に周知して頂きたいと思ひます。

<片平学校教育課長>

メールのやり取りは原則禁止にしています。部活動等でメールのやり取りが必要な所や不登校の子どもたちに対して教育的配慮に伴い必要な場合がありますので、原則禁止としています。今日、校長会がありますので、再度確認・指導したいと思ひます。

上記、事項について、出席委員全員協議の結果、承認された。